

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で（ヨシエル）」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う

詩篇119：7、エペソ人6：5「真心から」、マタイ13：44-46

しかし、深く知ること「知識」をどれほど積んでも、信じ委ねる「信仰」には至らない

→ ②ダイナミックな多角的、立体構造：

神の視点、人類史に先立って配備された摂理

→ ③古代ヘブル（イスラエル）史を通して記された正確な人間史：

過去（史実）を学び、現在を見分け、未来を見通す洞察力習得のテキスト

使徒パウロの宣教

その12

『テサロニケ人への手紙第二』（新改訳2017） 2-3章

2章

主要な課題

☆終末末期の出来事はどのような順で起こるのか？

☆「引き止めている者」はだれか？

: 1 「…主イエス・キリストの来臨と…みもとに集められること…」（下線付加）：

*用いられているギリシャ語は「パルーシア」

*強調は、主のご臨在

*「主が来られ、みもとに集められること」は単一の出来事、キリストの再臨

「私たちが主のみもとに集められることに関して」：

*「携挙」に言及

*キリストの来臨で主の御許、空中に引き上げられる

「再臨」を描写する三通りのギリシャ語用語

1. 「エピファニア」

☆主の顕れ

2. 「アポカリュプシス」

☆啓示

3. 「パルーシア」

☆主のご臨在

: 2 「…私たちから出たかのような手紙によってであれ…主の日がすでに来たかのように…」：

*偽りの手紙の循環でテサロニケの人々、動揺

主の日

☆神がご自分の敵を滅ぼし、千年（一定期間）続く御国を地上に樹立のため、

人類史にご介入される日

☆この日、キリストは全地を「鉄の杖」で治められる

→詩篇2：9

: 3 「…だれにもだまされてはいけません。まず背教が起こり…」（下線付加）：

*以前公言した立場、見解の意識的放棄

*神に対する反逆

*定冠詞使用、世の終わりの「大規模な反逆」に言及

聖書

背教

☆このギリシャ語

①その出発、②その背教の両意

☆『艱難期前携挙説』の立場を採っている人たち、このギリシャ語を「出発」と解釈
「その出発」＝「携挙」とみなす

☆欽定訳聖書（AV）、このギリシャ語を「背教」、一神から離れることと訳した

☆キリスト、オリーブ山での講話で、再臨に至るまでの出来事の推移を教えられた

→マタイ24：4-30

1.この世の惨事 2.教会内の背信 3.荒らす憎むべき者の到来 4.天の万象に起こる暗闇の順

：4「…不法の者は、すべて神と呼ばれるもの、礼拝されるものに対抗して…」（下線付加）：

*すべての異端の神々、この世の宗教のすべて

「神の宮」：

*至聖所

：5「私がまだあなたがたのところにいるとき、これらのことをよく話して…」（下線付加）：

*パウロがミニストリーの初期に強調して教えた基本的な福音

：6「…定められた時に現れるようにと、今は…引きとめているものがある…」（下線付加）：

*現在分詞の使用、非人間的に働く力を示唆

*「不法の者（罪の人）」の現れを防いでいる

：7「不法の秘密はすでに働いています…今引きとめている者が取り除かれ…」（下線付加）：

*無法状態、道徳的絶対基準、一善悪の見分けの喪失

*信徒にはすでに神によって顕されている

「働いています」：

*信じる者に働いている神の言葉

→テサロニケ人第一2：13

「引きとめている者」（下線付加）：

*6節の中性的名詞、ここでは、男性名詞

「まで」：

*現在の引きとめには期限がある

「取り除かれる」：

*アオリスト時制＝決定的な出来事

引きとめているもの/者

☆神の防止策としてのサタン拘束

：8「その時になると、不法の者が現れますが、主…は彼を…滅ぼされます」（下線付加）：

*パウロ、二つのことを強調

1.不法の人の働き、「引き止めるもの」の除去に続いて実行に移される

2.しかし、その者、罪の人の行く末は滅び

「御口の息…来臨の輝き」：

*主のご臨在の輝き

悪の一瞬の滅び

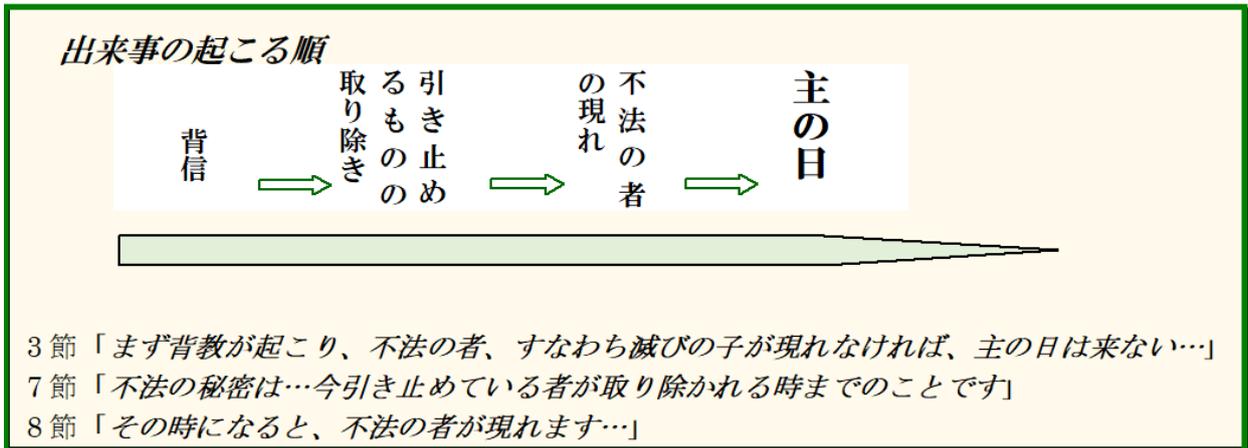
☆主が来られると、悪に対する報復は一瞬のうち

☆主の再臨は忍耐する信徒への大きな励まし

☆現在、サタンの欺きの全容は完全には明らかにされていないが、

反キリストの出現でこの世に明らかになる

聖書



: 9 「不法の者は、サタンの働きによって到来…力、偽りのしるしと不思議」（下線付加）：

1. 力 : 奇蹟の源
2. しるし: 奇蹟の意義
3. 不思議: 奇蹟が引き起こす驚き

: 10 「また、あらゆる悪の欺きをもって、滅びる者たちに臨みます…」（下線付加）：

*滅びの原因はその人たち自身の選択、神の愛、招きに対する拒絶

→ヨハネ3:19

: 11 「それで神は、感わず力を送られ、彼らは偽りを信じるようになります」（下線付加）：

*神は、罪を懲らしめる手段に、彼ら自身の悪の選択を用いられる

→箴言5:22

: 12 「…真理を信じないで、不義を喜んでいたすべての者が、さばかれるようになる…」：

*真理に対する意識的な拒絶は、悪を愛することに終焉

*悪が、そのような人たちにとっての善となるので

: 13 「…神が…あなたがたを、初穂として救いに選ばれたからです」：

*神はあなたがたをご自分のために、選ばれた

聖め/聖化の過程

☆聖霊の御働き

1. 有罪を宣告
2. 真理への導き
3. 主との一体への導き
4. 贖いの証印
5. 完成への導き

→ピリピ人1:6

: 15 「ですから兄弟たち…私たちが学んだ教えをしっかりと守りなさい」（下線付加）：

*聖書的な伝承、神から与えられた言葉

3章

三つの実践的訓戒

1. 1-5節 祈り、耐え忍びなさい
2. 6-13節 生計を立てるために、働きなさい
3. 14-18節 ただ聞くだけの者ではなく、行う者になりなさい

聖書

- : 1 「最後に兄弟たち、私たちのために祈ってください…」 :
- * 祈りの要請
 - ① 神の言葉が広がるように
 - ② 神の言葉に栄光が帰されるように
 - ③ 遣わされた目的を達成できるように
- : 2 「また…ひねくれた悪人どもから救い出されるように祈ってください」 (下線付加) :
- * テサロニケの人々、そのような対立を私的に経験
 - * パウロ、ベレヤで体験
 - * パウロ、コリントでも同じ脅威を体験、攻撃が続いた
 - * 今日信徒は、牧者、指導者が邪悪な者の攻撃から守られるように祈る必要
- 「信仰」 :
- * 聖書的な信仰は、信徒をイエス・キリストに対する無条件の服従へと導く
- : 4 「私たちが命じることを、あなたがたは実行していますし、これからも…」 (下線付加) :
- * テサロニケ人第一5:11以降の「二十二の戒め」
- : 5 「主があなたがたの心を…神の愛とキリストの忍耐に向けさせてくださいますように」 :
- * キリストの再臨を待つ忍耐!
 - * 主の日、再臨はそう簡単には来ない
 - * 偽預言者、偽教師にだまされないよう、今、御言葉をしっかり学ぶ必要
- : 6 「…怠惰な歩みをして…受け継いだ教えに従わない兄弟は、みな避けなさい」 :
- * 兄弟たちの過ちは咎められ、軌道修正されなければならない
- : 7 「どのように私たちを見習うべきか、あなたがた自身が知っているのです…」 :
- * パウロ、権利があっても自発的に権利を行使せず、放棄
- : 10 「あなたがたのところにいたとき、働きたくない者は食べるな、と…命じました」 :
- * 怠惰な兄弟たちの歩みはキリストの共同体に対する神の御旨の乱用
 - 使徒の働き2:44-46
 - * また、人の労働の尊厳に対する乱用
- : 11 「…あなたがたの中には…仕事をせずにおせっかいばかり焼いている人たちがいる…」 :
- * 仕事に忙しいのではなく、身体が忙しい、怠惰でおせっかいな兄弟たち
 - * 主が今すぐにでも来られるという見解に没頭した兄弟たち、労働を軽んじ、生まれつきの怠惰な性格を正当化した
- : 12 「…主…によって、命じ、また勧めます…仕事をし、自分で得たパンを食べなさい」 :
- * パウロ、終末論的書簡で、多くのスペースを現実生活に費やしている
- : 13 「しかしあなたがたは、たゆむことなく善を行いなさい。兄弟たちよ」 :
- * どんなに時代が悪くなっても、神の御旨に従って善悪を判断する「良心」を失ったり、麻痺させたりしないように!
- ☆ テサロニケの教会の強さの一つは、神の言葉に対する真摯な姿勢
- ☆ テサロニケの信徒は御言葉を聞き、受け入れ、信じ、ほかの人たちと共有した
- ☆ 真の信徒は御言葉の聞き手であると同時に、実践する人
- : 15 「しかし、その人を敵とはみなさず、兄弟として戒めなさい」 :
- * パウロの厳しい命令の目的は怠惰な兄弟の除名ではなく、矯正
- : 17 「…自分の手であいさつを…これは私のどの手紙にもあるしるしです…」 (下線付加) :
- * パウロ、自らの手で、結びの言葉を書き加えた